

栃木県議会議員全員協議会の開催に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

去る4月9日の選挙におきまして、多くの県民からの信託により、めでたく当選を果たされました議員各位に対しまして、心からお喜びを申し上げますとともに、深く敬意を表する次第であります。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、昨日、感染症法上の位置付けが5類感染症に移行し、大きな転換点を迎えたところがあります。

県といたしましては、今後とも、県民の命と健康を守ることを最優先に、「コロナ・新ステージへの取組」を進め、身近な医療機関で県民が必要な医療を受けられる体制の構築に努めるなど、国や市町、関係機関等と緊密に連携し、必要な対策を講じて参ります。

次に、栃木県誕生150年の節目の年となる本年におきましては、6月10日に記念式典等を開催するほか、年間を通して、本県の歩みを再認識し、多彩な魅力を体感できるイベントや、本県の未来を担う若者に焦点を当てた企画等を展開し、郷土愛の醸成や地域の新たな活力の創出につなげて参ります。

また、6月24日及び25日には、我が国で初めてのG7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が日光市において開催されます。30日前記念イベントをはじめとした機運醸成、会合当日の歓迎レセプションやエクスカーションの実施など、鋭意準備を進めているところであり、引き続き、会合の成功に全力を尽くすとともに、会合開催を契機として、男女が共に輝く“とちぎ”づくりに取り組んで参る所存であります。

次に、今年度は、県政の基本指針である「とちぎ未来創造プラン」が計画期間の中間年を迎えます。本県の目指す将来像「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」の実現に向け、「人材育成戦略」を第一の柱とする5つの重点戦略に掲げた各プロジェクトを着実に推進して参ります。

また、県政を取り巻く新たな行政課題に対応すべく、組織改編を行ったところであります。いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会を契機としたスポーツツーリズムの推進や共生社会の実現に努めるとともに、若者や女性のニーズをとらえた選ばれるとちぎづくりや、ポストコロナにおける本県産業の競争力強化、様々な分野におけるデジタルトランスフォーメーションの推進、オールとちぎでのカーボンニュートラルの実現などに全庁一丸となって取り組んで参ります。

結びに、仕事の原点は現場にあるという現場主義を徹底するとともに、県民や市町等の声に真摯に耳を傾け、県民益の最大化を基本として、様々な課題の解決にスピード感を持って取り組んで参ります。加えて、デジタル時代を踏まえた県政情報の積極的な発信等により、県民にとって県政がより身近なものとなるよう、県議会とともに取り組んで参りたいと考えておりますので、議員各位の御理解と御支援を心からお願い申し上げます。